



芝小だより

第五月号

発行日 平成29年4月28日(金)
 発行所 港区立芝小学校
 〒105-0014
 港区芝2-21-3
[TEL:03-3456-3072](tel:03-3456-3072)
 FAX:03-3456-3071



晴れた日の校庭には、一所懸命に走る姿があります。そして、子供たちは「がんばれ！」

という友達の大きな声援を受けながら、ゴールを駆け抜けていきます。このような活動を参観しながら、私はおよそ一か月後の子供たちを想像します。

運動会では、かけっこ・短距離走や表現活動、団体競技、また子供によっては係活動やマーチングなどを行うことを通して子供たちの心身共に健康な姿、友達と競い合ったり力を合わせたりする楽しさを味わおうとする態度を目指します。そのために「ゴールデンウィーク後から本格的な練習を始めます。」

私は、子供たちに「最後まで頑張る姿」を期待しています。この姿は、「社会を生き抜く力」を育成することにつながる、と考えているからです。これは、例えば「第二期教育振興基本計画」（文部科学省）には「予想を超えたスピードで変化し多様化が進む社会」に対応するための力である、とされています。ここには、「東日本大震災の教訓」から「非日常的、想定外の事象や社会生活・職業生活上の様々な困難に直面しても、諦めることなく、状況を主体的かつ的確に判断し臨機応変に行動する力やコミュニケーション能力など」の必要性も述べられています。

す。私共は、平素の教育活動においてもこれらの力を育成すべく努力をしておりますが、運動会に向けて芝小学校の誰もが友達をはじめとする多くの人々と関わり、時には失敗体験を味わいながらも「社会を生き抜く力」を身に付けるべく、最後まで頑張れるようにしていきます。

そのためには、月並みな言い方ですが、まず、子供たちが目標を設定できるようにしていきます。教員が、それぞれの取組のねらいや特性を説明しながら、一人一人がどのように活躍できるのかを明らかにしていきます。

目標が定まると、具体的な取り組み方も明らかになります。私共は、平素の学習活動で子供たちが課題を解決しようとする際には、その道筋、つまり「見通し」をもつことを重視して主体性の育成を目指しています。運動会でも子供たちが目標を達成するための手立てとしての見通しを示し、取り組み方を明らかにしていきます。

さらに、子供たち自身が自分の姿を認識しながら練習に取り組めるようにします。例えば、「即時評価」という言葉がありますが、一人一人をできる限りの観察をしながら、よい動きが見られたらすぐに認めて子供たちに自信をもたせ、「もっとやろう」「技

を完成させるぞ」という意欲をもたせ、自分の判断に基づいて自分なりに活動できるようにしていきます。うまくいかず心が折れてしまいうようなときもあります。そのようなときには私共は子供たちを「大丈夫」と励まし、支えていきます。そして、子供たちに最後まで頑張ろうとする意欲をもたせながら、当日を迎えたいと思います。

最後にお願いがございます。子供たちが、「最後まで頑張る」ためには、皆様のお励まし、御声援が不可欠です。ステージに立った子供たちには、皆様の温かさがとてもよく伝わります。そして、子供たちはさらに高い目標を目指せるようになります。どうぞ子供たちの頑張りにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

これから気温もどんどん上昇してまいります。子供たちは多くの汗をかきながら練習します。今後文書等でお伝えをいたしますが、子供たちの健康管理のために御協力を賜りたいと存じます。

開会式るとき、私は「閉会式るときに、『疲れた』と言えるくらい最後まで頑張る」ように子供たちに伝えます。そして、閉会式に並ぶ三三七名の日焼けした表情に出会えることを切に願っています。